

緑の風



令和6年2月19日(月)
流山市立おおぐろの森中学校
第2学年 学年通信

「Music Outreach」に取り組みました!

～心に火をつけ、自律への勇気をつかむ～

世界9カ国から集まった Heart Global のキャストの方々と、1日かけて1つの「Special show」を作り上げました。初めは何をするのかわからず戸惑いを隠せない様子の子どもたちでしたが、キャストの方々の明るく朗らかな人柄や励ましの言葉に触れる中で、徐々に心のスイッチを押しそれぞれ火をつけたようです。

練習では、キャストの方々の圧倒的な表現力を肌で感じつつ、子どもたちとの積極的なコミュニケーションやコーチングが図られました。学年全員で音楽に乗りダンスを作ったり、合唱のパートをグループ別に練習したりしていきました。そして、技術の練習だけではなく、少人数に分かれたワークショップで自分を紹介する活動があったり、リズミカルな BGM の中でグループの輪の真ん中に引きこまれ、思い思いに体を動かすことを楽しむ時間が作られていました。このようにグループでの活動を基本に、各々の気持ちを素直に表現し、それを気持ちよく受け止め合いキャッチボールしていく活動を通して、みんなの関係がより密になり心の炎が自然と大きくなっていったように感じました。

活動を終えて、子どもたちはとてもよい表情で戻ってきていたように思います。普段の授業とはまったく異なる経験ができ、とてもよい刺激になりました。また、英語を中心とする活動だったことで、もっと話せるようになりたいというモチベーションにつながった生徒もいるようです。

この活動で大切にされていたのは、自分の気持ちや意思を表現する勇

気、その表明をお互いに尊重し合い、絶対に否定しないこと、そして、みんなで一つのを創り上げていく楽しさだと感じました。このような場所や人に触れたことで、自分のことを肯定的に受け止めていききっかけとなり、世の中で通用する「生きる力」が身についていくのではないかと思います。

この活動の企画・準備・運営に携わっていただいた皆様、本当にありがとうございました。



◎生徒が書いた「Music outreach」の感想から一部を紹介します。

- 最初はあまり踊りたくないという気持ちもあったが、キャストさんたちが明るく盛り上げてくれて、常に笑顔で優しい人柄が素晴らしいと思った。外国のキャストの人たちも、日本人の人たちも英語がペラペラでかっよく、将来話せるようになりたいから、今から英語の勉強を頑張ろうと改めて思えた。
- 「楽しむことが一番」とキャストに言われて、ダンスや歌、演技を「覚える」のではなく、『表現する』という大切さに気づくことができました。
- 円の中で踊るとき恥ずかしいと思っている自分がいやだったり、全然できなくて落ち込んだ時もあったけど、キャストの人たちが「みんな頑張ってる」と言ってくれて「自分も頑張ってるんだ☆」と思った。
- Showをした後の方が、解放されたような気持ちになった。Showをしているときの自分は、いつもの自分とは違って、またちがう自分になれたと感じた。自分を表現する楽しさというのがわかった気がした。
- 自分がやったことのないことに挑戦していく経験が多く、将来できることの幅が広がった。またキャストの人たちがみんなのことを積極的に引っ張っている姿は、今後の修学旅行や体育祭などにもリーダーの立場になったときに必要になることだと思うし、自分もそのような姿勢を実践に移していきたいと思った。
- 普段は自分の考えや感情はあまり人に言わないし、言う機会がなかったけど、今回の経験を通してはじめて自己表現ができたと思う。キャストの皆さんのポジティブさ、明るさを真似して、周りを巻き込んで元気にさせるような人になりたいと思った。
- 正直に言えば、こういう雰囲気がとても苦手だけど、最後の Show はとてもきれいだったと思った。
- 今はホームステイを受け入れることはできないけれど、機会があれば受け入れたいと思った。
- ソロを任された時に、誰かの視線が気になってできない、人と同じでない心配とっていたけど、やってみたら意外とできたしやってよかったと思う。
- 「表現」の手段には、「言葉」だけではなく、「ダンス」「歌」「手話」「身振り手振り」などたくさんあり、言葉にとらわれずともお互い心から通じ合えることに感動した。
- 「人の心動かす」とは…（感想を書くにあたって、こちらから投げかけた問に対する回答）
自分が全力で何かをすること
できる最大限を相手に見せることが大切だ。
自分たちが楽しんで、周りの人にもその楽しさを共有してもらうことでたくさんの人と楽しさを共有すること。
相手への思いやりが大切だと思う。
人の心は発言（言葉）だけでは動かない。人の心を動かすのは、行動。

「表現」ということの奥深さや幅の広さ、身体的な活動をする中での自分の意識の変化、さらに人の心を動かすことの本質的な部分に考えが及ぶなど、子どもたちにとって本当に多様な気づきがあったようです。この中で多くの学びや楽しさを得た生徒もいれば、反対にこのような自己表現の雰囲気が少し苦手ながらも自分なりのペースで向き合いながら取り組み、達成感を味わえた生徒もいたように感じました。この日の経験や生徒の言葉から、いつかまたそれぞれのタイミングでより深く理解が進んでいくことと思います。また、私たち自身も自分では気づけなかった学びがたくさんありました。本当に味わい深い経験となりました。

今年度のまとめへ ～ 3年生を送る会：仲間とつながり、みんなの心を動かそう ～

3学期は、今年度のまとめであり、3年生になるための始まりでもあります。自分らしさ、先輩らしさを磨くことはできたでしょうか。また、自分らしさを大切にすることと同様に、一緒に過ごしている仲間の喜びを大切にできているでしょうか。この後3月には、3年生を送る会があります。3年生の先輩に感謝の気持ちを伝え、1年生の後輩とともに本当の意味で学校の柱になる時です。目的に向かってお互いの良さを最大限に引き出せるよう最善を尽くし、おおぐろの森中みんなの心を動かす発表を作り上げてほしいと思います。